

人事委員会議事録（第1684回）

1 開催日時

令和4年5月9日（月）16：30～17：00

2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

3 会議に出席した者

委員	田中基康	委員長
	鈴木尉久	委員
	長尾真	委員
事務局職員	西谷智子	任用課長
	井上博尊	給与課長
	中原恵子	任用課副課長兼給与課副課長

開 会

第1号議案

議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1683回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

第2号議案

採用選考試験（第1回）実施要綱決定の件

任用課長が標記要綱（案）を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

専門職種なので広報が難しい。応募者が集まる見込みはあるのか。

（事務局）

各任命権者から関係機関を通じて幅広く広報を行う。また、より多くの人を受験できるよう、今回から受験対象年齢を59歳に引き上げる。

（委員）

適性検査の結果はどのように活用するのか。

（事務局）

可否の判定要素として活用しており、面接の評定と適性検査の結果を勘案して可否を決定している。

報告事項1

特別枠採用試験の申込状況

任用課長が、標記試験の申込状況を報告した。

(委員)

申込倍率が高かったのはよいことだが、辞退させない取組も重要である。6月の筆記試験時に他の自治体を受験する者がいるのではないか。

(事務局)

我々もその点を危惧しており、任命権者とどのような取組ができるか話をしているところである。

(委員)

合格発表の前倒しと合格後の辞退させない対策とはセットで考えるべき問題である。各任命権者と具体的な対策を考える必要がある。

申込者数は、通常の行政A採用試験と比較してどうなのか。

(事務局)

総合土木職は、土木系職種を統合して総合土木職として募集を開始した平成21年度以降、過去最高の申込者数であり、申込者数が100名を超えたのも15年ぶりである。保健師、児童福祉司、心理判定員は、直近10年間で過去最高の申込者数となっている。

閉 会